

専門分野を生かした職務関連の社会貢献等について

Other Relative Activities

1. 講義

川西 徹, 「国立医薬品食品衛生研究所の使命, 組織, 業務内容」, 平成20年度必須医薬品製造品質管理研修 (GMPコース) (2008.11)

川西 徹, 「薬品部の業務について」, 平成20年度薬事行政官研修 (2008.11)

川西 徹, 「ジェネリック医薬品の品質確保に関する最近の話題 - ジェネリック医薬品品質情報検討会の活動を中心にして -」 平成20年度日本薬剤師会試験検査センター技術講習会 (2008.12)

四方田千佳子, 「固形剤の品質再評価」, 国立保健医療科学院平成20年度特別課程衛生管理コース (2008.6)

香取典子, 「統計学的手法」, 国立保健医療科学院平成20年度特別課程衛生管理コース (2008.6)

阿曾幸男, 「医薬品の安定性試験」, 国立保健医療科学院平成20年度特別課程薬事衛生管理コース (2008.6)

阿曾幸男, 「医薬品の品質確保—安定性試験—」, 第18回必須医薬品製造管理研修 (2008.12)

檜山行雄, 「医薬品の品質保証とGMP」, 国立保健医療科学院平成20年度特別課程薬事衛生管理コース (2008.5)

檜山行雄, 「医薬品の規格設定」, 国立保健医療科学院平成20年度特別課程薬事衛生管理コース (2008.5)

檜山行雄, 「医薬品の品質・製造工程 (2)」, 東京大学大学院薬学系研究科 医薬品評価科学レギュラーコース (2008.6)

檜山行雄, 「Quality Assurance of Drugs」, 国際厚生事業団必須医薬品製造品質管理研修(2008.12)

坂本知昭, 「品質試験検査概論」, 国立保健医療科学院平成20年度特別課程薬事衛生管理コース (2008.5)

坂本知昭, 「分析法バリデーション」, 国立保健医療科学院平成20年度特別課程薬事衛生管理コース (2008.6)

小出達夫, 「理化学試験機器概論」, 国立保健医療科学院平成20年度特別課程薬事衛生管理コース (2008.6)

山口照英, 「バイオ医薬品の品質保証」, 東京大学セミナー (2008. 5)

新見伸吾, 「有効性, 品質, 安全性の観点からバイオ医薬品の承認申請に必要な事柄」, 徳島大学薬学部 (2009. 1)

花尻 (木倉) 瑠理, 「指定薬物の現状と違法ドラッグの分析法について」, 指定薬物の分析・鑑定に関する研修 (2009.1)

花尻 (木倉) 瑠理, 「指定薬物及び新規麻薬指定化合物について」, 全国麻薬取締部鑑定官研修 (2009.2)

内山奈穂子, 「違法ドラッグ成分のNMR等を用いた同定法について」, 指定薬物分析・鑑定に関する研修 (2009.1)

緒方 潤, 「植物系違法ドラッグの遺伝子分析について」, 指定薬物の分析・鑑定に関する研修 (2009.1)

緒方 潤, 「大麻種子発芽能力試験法について」, 全国麻薬取締部鑑定官研修 (2009.2)

佐藤陽治, 「遺伝子治療・再生医療に関する最近の動向と安全性評価」, 東邦大学大学院 (2008.6)

佐藤陽治, 「循環器領域の遺伝子治療・再生医療に関する最近の動向と安全性評価」, 早稲田大学理工学術院 (2008.7)

佐藤陽治, 「細胞組織加工医薬品の品質・安全性確保」, 日本トキシコロジー学会トキシコロジーリカレント講座 (2008.9)

土屋利江, 「医療用具の安全性について」, 東京女子医科大学第39期バイオメディカルカリキュラム (2008,4)

土屋利江, 「医療機器・細胞組織医療機器の安全性・有効性・品質確保について」, 九州大学システム生命学府大学院集中講義 (2008.)

西村哲治, 「水質の検査と評価」, 国立保健医療科学院 (2008.9)

西村哲治, 「水環境中の医薬品の存在実態とリスク評価」, 摂南大学薬学部大学院(2008.12)

- 松田りえ子,「食品に残留する農薬等に関する試験法の妥当性評価ガイドラインについて」,厚生労働省医薬食品局食品安全部 平成20年度食品安全行政講習会(2008.5)
- 松田りえ子,「試験法の妥当性評価について」,食品衛生登録検査機関協会 平成20年度残留農薬・動物用医薬品研修会(2009.3)
- 根本 了,「食品中の残留農薬試験法について」,厚生労働省医薬食品局食品安全部 平成20年度食品安全行政講習会(2008.5)
- 根本 了,「食品中の残留農薬,動物用医薬品等の動向」,国立保健医療科学院 平成20年度短期研修食肉衛生検査研修(2008.7)
- 根本 了,「食品中の残留農薬試験法について」,厚生労働省医薬食品局食品安全部 平成20年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会(2008.8)
- 根本 了,「加工食品中の農薬試験法について」,地方衛生研究所東海北陸ブロック理化学部門研修会(2008.12)
- 根本 了,「残留農薬等に関する最近の話題について」,食品衛生登録検査機関協会 平成20年度残留農薬・動物用医薬品研修会(2009.3)
- 坂井隆敏,「残留農薬等試験法の開発について」,食品衛生登録検査協会 平成20年度残留農薬・動物用医薬品研修会(2009.3)
- 宮原 誠,「照射食品の検知法」,平成20年度食品安全行政講習会(2008.5)
- 渡邊敬浩,「生化学的試験法の信頼性確保について」,食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者研修会(2008.8)
- 渡邊敬浩,「食品分析の信頼性保証と分析の妥当性評価について」,食品衛生登録検査機関協会・業務管理研修会,(2009.2)
- 渡邊敬浩,「食品中の汚染物モニタリング検査と摂取量調査について」,国立保健医療科学院平成20年度特別過程食品衛生管理コース,(2009.2)
- 河村葉子,「玩具,金属製器具,陶磁器等の規格基準改正とその試験法について」,食品衛生登録検査機関協会 平成20年度特殊技術研修会(2008.4)
- 河村葉子,「器具・容器包装における最近の話題」,国立保健医療科学院平成20年度特別課程食品衛生管理コース(2009.1)
- 佐藤恭子,「食品添加物における最近の話題」,国立保健医療科学院平成20年度特別課程食品衛生管理コース(2009.1)
- 伊藤裕才,「大学院特論・天然物科学II」,大阪薬科大学(2008.12)
- 山本茂貴,「食品の衛生管理とHACCPシステム」,日本獣医生命科学大学(2008.5)
- 山本茂貴,「食品の微生物学的リスクアナリシス」,国立保健医療科学院平成20年度特別課程食肉衛生検査コース(2008.6)
- 山本茂貴,「危害分析について」,HACCP連絡協議会(2008.7)
- 山本茂貴,「食品のリスク分析手法」,JICA(2008.9)
- 山本茂貴,「食品は安全か」,広島大学(2008.10)
- 山本茂貴,「危害分析について」,HACCP連絡協議会(2009.2)
- 山本茂貴,「食品の微生物学的リスクアナリシス」,国立保健医療科学院平成20年度特別課程食品衛生管理コース(2009.2)
- 山本茂貴,「現行の公定食品細菌検査法の検証と今後の課題」,(独)国際協力機構(2009.3)
- 五十君静信,「遺伝子組換え技術による新たなる乳酸菌機能性剤の開発」,岩手大学大学院学際領域特別講義(2008.6)
- 五十君静信,「食肉の細菌制御」,国立保健医療科学院平成20年度特別課程食肉衛生検査コース(2008.6)
- 五十君静信,「食中毒菌の検査法」,国立保健医療科学院平成20年度特別課程食肉衛生検査コース(2008.7)

- 五十君静信,「乳肉製品の細菌防御」,国立保健医療科学院平成20年度特別課程食品衛生管理コース(2009.2)
- 町井研士,「食品衛生検査の精度管理」,国立保健医療科学院平成20年度短期研修,食肉衛生検査研修(2008.6)
- 町井研士,「天然毒」,国立保健医療科学院専門課程,選択科目「毒性学(基礎)」(2009.1)
- 町井研士,「マリンバイオトキシン」,国立保健医療科学院平成20年度短期研修,食品衛生管理研修(2009.2)
- 春日文子,「学校給食における衛生管理について」,千葉市平成20年度学校給食従事者衛生管理研修会(2008.4)
- 春日文子,「微生物学的リスクアセスメントの実際」,国立保健医療科学院食肉衛生検査コース(2008.6)
- 春日文子,「食品衛生におけるリスクアセスメント」,国立感染研究所FETP初期導入コース(2008.7)
- 春日文子,「学校給食施設衛生管理について」,墨田区教育委員会(2008.8)
- 春日文子,「レギュラトリーサイエンス-食品汚染微生物のリスクアセスメント」,東京農工大学講義(2008.11)
- 春日文子,「食品汚染微生物のリスクマネジメントとリスクアセスメント」,山梨大学リスクマネジメント講演会講義(2008.12)
- 春日文子,「細菌性食中毒・リスク評価-食品汚染微生物のリスクマネジメントとリスクアセスメント」,日本獣医生命科学大学獣医保健看護学科講義(2008.12)
- 春日文子,「リスクアナリシスと地方食品衛生行政」,国立保健医療科学院平成20年度短期研修食品衛生管理研修(2009.1)
- 春日文子,「鶏肉のカンピロバクターとリスク評価」,厚生労働省平成20年度食鳥肉衛生技術研修会(2009.1)
- 春日文子,「微生物学リスクアナリシス概要」,農林水産省食品安全に関するリスクアナリシス専門家養成研修会(2009.2)
- 春日文子,「カンピロバクターとリスク評価」,長野県食品衛生監視員研修会(2009.3)
- 野田 衛,「ノロウイルス遺伝子検査実習」,国立保健医療科学院平成20年度特別課程ウイルスコース(2008.10)
- 野田 衛,「ノロウイルスによる食中毒」,国立保健医療科学院平成20年度特別課程食品衛生管理コース(2009.1)
- 野田 衛,「ノロウイルスのカキからのアミラーゼ抽出について」平成20年度地域保健総合推進事業「科学的根拠に基づく政策決定を支援するための地方衛生研究所の試験研究機能の強化及び情報ネットワークの構築」における「中国四国地域ブロック専門家会議(微生物)」(2008.11)
- 小西良子,「衣食住におけるカビの問題」,(社)日本食品衛生協会平成20年度食品衛生管理士フォローアップ研修会(2009.3)
- 工藤由起子,「食肉と微生物」,国立保健医療科学院平成20年度短期研修食肉衛生検査研修(2008.6)
- 鎌田洋一,「食肉または肉料理から分離される細菌と毒素と食中毒」,平成20年度食肉衛生技術研修会(2009.1)
- 鎌田洋一,「細菌・細菌毒素による食中毒」,国立保健医療科学院平成20年度特別課程食品衛生管理コース:(2009.1)
- 斎藤嘉朗,「医学医療情報学」,福島県立医科大学大学院(2008.7)
- 手島玲子,「遺伝子組換え食品の安全性評価」,日本国際協力センター JICA食品保健行政コース研修(2008.2)
- 穂山 浩,「遺伝子組換え食品について」,国立保健医療科学院平成20年度特別課程食品衛生管理コース(2009.1)
- 穂山 浩,「遺伝子組換え食品について」,日本国際協力センター JICA特別研修コース(2009.2)
- 穂山 浩,「食品中アレルギーのリスク評価」,東京農工大学大学院(2008.12)
- 安達 玲子,「アレルギー物質を含む食品の表示と検査方法」,国立保健医療科学院平成20年度短期研修食品衛生管理研修(2009.1)

森川 馨,「医薬品情報」,国立保健医療科学院 (2008.5)

畝山智香子,「毒性学(基礎)毒性情報」,国立保健医療科学院 (2009.1)

畝山智香子,「食品中汚染物質の概要と情報について」,国立保健医療科学院平成20年度特別課程食品衛生管理コース (2009.1)

畝山智香子,「薬理学特別講義」,東北大学歯学部 (2009.1)

Takeshi Morita,「Evaluation of Health Effects for GHS Classification」,The Training Program on Industry and Environmental Protection for ASEAN, GHSInstructors, (ENEP-1) (2008.10)

鹿庭なほ子,「医薬品の安全性:重症薬疹発症に関連したバイオマーカーに関する最近の研究」,千葉大学 (2008.7)

鹿庭なほ子,「医薬品の規格と有効性・安全性」,千葉大学 (2008.7)

北嶋 聡,「リスクアセスメント・マネジメント 環境毒性(環境汚染物質)放射性物質,紫外線」第11回日本トキシコロジー学会基礎教育講習会 (2008.7)

宮島敦子,「最適な投与設計のためにII・薬理遺伝学」,城西大学大学院 (2008.11)

梅村隆志,「毒性学」,東京農工大学農学部獣医学科集中講義(2008.11~12)

吉田 緑,「毒性学」,岩手大学農学部獣医学科集中講義 (2008.6)

吉田 緑,「Chemically induced toxicities of the ovary, uterus, cervix and vagina. National Toxicology Program Workshop on Pathology of the Reproductive Tract(2008.10)

吉田 緑,「性周期から見たげっ歯類卵巣の形態学的特徴とPCNAの有用性(HEとPCNA)」第9回日本毒性病理学会教育セミナー (2008.11)

能美健彦,「遺伝毒性,発がん性」,日本トキシコロジー学会 (2008.7)

山田雅巳,「Ames試験の原理」,日本環境変異原学会微生物変異原性試験研究会 第一回Ames試験講習会 (2008.7)

広瀬明彦,「ダイオキシンのリスク評価」,お茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター「化学・生物総合管理の再教育講座」(2008.5)

広瀬明彦,「リスクアセスメント」,千葉大学大学院医学薬学府教育改革プログラム「世界規模の治験・臨床研究を担う医療人育成」医薬品安全性評価学特論 (2008.5)

広瀬明彦,「リスクマネジメント」,千葉大学大学院医学薬学府教育改革プログラム「世界規模の治験・臨床研究を担う医療人育成」医薬品安全性評価学特論 (2008.5)

2. 講演

四方田千佳子,「貼付剤の放出試験における膜利用技術の提案」,医薬品品質フォーラムワークショップ2008「局所皮膚適用製剤の生物学的同等性のあり方」(2008.11)

四方田千佳子,「後発医薬品の品質確保を巡る動きについて」,神奈川県後発医薬品推進協議会 (2009.2)

奥田晴宏,檜山行雄,「原薬品質保証に関する国際的視点から見た問題点の提起」,第8回医薬品品質フォーラムシンポジウム:原薬を考える (2009.1)

檜山行雄,「ICH品質ガイドラインQ8, Q9,Q10の実践に関する課題」,第8回医薬品添加剤セミナー (2009.3)

Yukio Hiyama, "Implementation of ICH guideline and Japanese regulations"
Name of meeting: ICH GCG training seminar (2008.12)

檜山行雄,「ICH-Q8と承認申請の関係」,平成20年度東西薬事法規(研究)委員会 (2008.6)

檜山行雄,「治験薬GMPの改訂について」,製薬協品質委員会(2008.4)

檜山行雄,「高度分析評価技術を応用した医薬品製剤開発及び製造工程管理手法の展望」,平成20年度政策創薬総合研究推進事業研究成果等普及啓発事業 (2008.12)

坂本知昭,檜山行雄,「UHPLCによる合成工程のリアル

タイム解析について」,平成20年度政策創薬総合研究推進事業研究成果等普及啓発事業 (2008.12)

小出達夫,「NIRイメージングシステムを用いた固形製剤の造粒状態の分析及び溶出予測」,平成20年度政策創薬総合研究推進事業研究成果等普及啓発事業 (2008.12)

Nana Kawasaki,「Low Molecular Mass Heparins in the Japanese Pharmacopoeia」,2nd Workshop on the characterization of Heparin products (2008. 6)

川崎ナナ「バイオ医薬品の本質及びアミノ酸配列等記載方法の変更について」第18回薬事委員会バイオ諸問題検討グループ定例会合 日本製薬工業協会 (2009. 1)

川崎ナナ「抗体医薬品の承認状況と開発動向」バイオロジクスフォーラム 第6回学術集会 (2009.2)

合田幸広,「食薬区分と違法(脱法)ドラッグ」,漢方薬・生薬認定薬剤師研修会 (2008.8)

Yukihiro Goda,“Recent Pharmacopoeial Topics on Herbal Medicine and Related Products in Japan”,The 4th International Advisory Broad Meeting on Hong Kong Chinese Materia Medica Standards, Hong Kong, China (2008.10)

Yukihiro Goda,“Pharmacopoeial Topics on Herbal Medicine in Japan from 2007 to 2008”,The 6th Standing Committee Meeting of the Western Pacific Forum for the Harmonization of Herbal Medicines, Seoul, Republic of Korea (2008.11)

Yukihiro Goda,“Compiled Activity Reports of Past Years of Sub-Committee 1”,The 6th Standing Committee Meeting of the Western Pacific Forum for the Harmonization of Herbal Medicines, Seoul, Republic of Korea (2008.11)

合田幸広,「ED治療薬関連物質の検出事例と無承認無許可医薬品対策」,第45回全国衛生化学技術協議会年会自由集会 (2008.11)

合田幸広,「漢方医学の国際化,正しい用語使用と英語表記統一(漢方製剤・生薬製剤・生薬用語の英語表記)」,第104回漢方医学フォーラム (2009.3)

川原信夫,「最近の生薬行政の動き-第十五改正日本薬局方第一追補及び第二追補を中心に-」,奈良県製薬薬剤師

会・製薬技術研修会 (2008.6)

川原信夫,「今後の日局生薬のあり方について」,日本OTC医薬品協会生薬製品委員会 (2008.7)

Nobuo Kawahara,“Comparative Studies on the Developing Solvent for TLC in Pharmacopoeia, Considering Clean Analysis among FHH Member Countries in 2008”,The 6th Standing Committee Meeting of the Western Pacific Forum for the Harmonization of Herbal Medicines, Seoul, Republic of Korea (2008.11)

丸山卓郎,内山奈穂子,「薬用植物と食薬区分,違法ドラッグ」,第一回生薬若手懇話会 (2008.12)

鹿庭正昭,「化学製品による消費者の健康被害事故防止のために」,日本中毒学会東日本地方会(2009,1)

鹿庭正昭,「繊維製品に使用される化学物質に関する安全対策」,日本繊維機械学会・春季セミナー (2009,3)

鹿庭正昭,「家庭用品による健康被害:ゴム製品などによるアレルギー性接触皮膚炎の原因究明」,大阪府立産業技術総合研究所セミナー (2009,3)

伊佐間和郎,「家庭用品に含有する有害物質の試験法について」,平成20年度全国家庭用品安全対策担当係長会議 (2008.7)

中岡竜介,「バイオマテリアルの安全性評価とその国際調和」,第7回次世代バイオマテリアル若手研究会 (2009.3)

西村哲治,「水道水質管理に関する最近の動向について」,平成20年度全国給水衛生検査協会関東地区支部総会(2008.6)

西村哲治,「平成19年度環境測定分析検討会統一精度管理調査結果:水試料(有機スズ化合物及び有機塩素化合物の分析)」,平成19年度環境測定分析検討会統一精度管理調査結果説明会 (2008.7)

西村哲治,「水環境中の医薬品について」,平成20年度試験検査センター技術講習会(環境・医薬品試験合同) (2008.12)

松田りえ子,「食品に関わる分析値の不確かさについて」,

- 東京コンファレンス Plenary シンポジウム 第2部 ー 食の安全・安心を求めてー(2008.9)
- 松田りえ子, 「食品と有害物質」, 食品の安心・安全確保推進研究推進事業 シンポジウム (2009.2)
- 根本 了, 「加工食品検査を巡る新しい動き」, 日本食品衛生学会 第11回特別シンポジウム (2009.2)
- 宮原 誠, 「照射食品の現状と検知法」, 日本分析センターセミナー (2009.2)
- 河村葉子, 「器具・容器包装及び玩具の規格基準改正の背景ー鉛及びカドミウム」, 厚生労働省食品に関するリスクコミュニケーション〜器具・容器包装, おもちゃの規格改正に関する意見交換会 (2008.12)
- 山崎 壮, 「特定保健用食品の最近の審査状況について」, 平成20年度第1回特定保健用食品講習会 (2008.7)
- 山崎 壮, 「「特定保健用食品」の最近の審査状況について」, 食品制度のトレンド研究セミナー (2008.12)
- 山本茂貴, 「食品微生物検査法の標準化」, 全国食肉衛生検査所協議会微生物部会総会・研修会, (2008.7)
- 山本茂貴, 「食品の微生物学的リスクアナリシス (食中毒防御のために)」, 平成20年度食肉食鳥肉衛生技術研究会及びBSEに関する技術研究会(北海道), (2008.9)
- 山本茂貴, 「BSE対策のリスク評価」, 内閣府食品安全委員会, (2008.10)
- 山本茂貴, 「輸入食品と健康影響」, 平成20年度食品の安心・安全確保推進研究推進事業 (2009.2)
- 五十君静信, 「微生物を利用して製造された遺伝子組換え食品の安全性評価」, バイオインダストリー協会 (2009.9)
- 五十君静信, 「食品の細菌学的試験法の現状と問題点ー食品からの微生物検査標準法検討委員会の検討事項を中心に」, 特別区平成20年度専門研修「検査技術」. 千代田区. (2008.9)
- 五十君静信, 「わが国の食品微生物試験の現状と今後の国際規格への対応」, 食品開発展2008記念セミナー (2008.10)
- 五十君静信, 「遺伝子組換え食品の安全性を考える」, 千葉県食品の安全・安心に関するリスクコミュニケーション〜遺伝子組換え食品の安全性に関する学習会〜 (2008.11)
- 五十君静信, 「わが国の食品微生物試験法の現状解析から, 今後の方向性を考える」, 全国農協乳業協会セミナー (2008.11)
- 町井研士, 「食品の安全性確保についてー食品衛生検査の精度管理ー」, 平成20年度山梨県公衆衛生獣医師協議会研修会(2009.2)
- 町井研士, 「マリントキシンについて」, 社団法人広島県獣医師会公衆衛生部会講演会(2009.2)
- 春日文子, 「子どもの健康づくりと食事 - 子どもの食と衛生」, 第46回日本小児歯科学会シンポジウム (2008.6)
- 春日文子, 「食品の微生物学的リスクアセスメント - 必要とされるデータと結果の利用」, 衛生微生物技術協議会第29回研究会 (2008.6)
- Fumiko Kasuga: Foodborne disease surveillance systems and the estimation of burden of those diseases in Japan / Seminar at Department of Health and Ageing, Canberra, Australia (2008.6)
- Fumiko Kasuga: Japanese burden of illness study /5th Annual International Collaboration of Enteric Disease 'Burden of Illness' Studies Meeting (2008.8)
- Fumiko Kasuga: Estimating the global burden of foodborne diseases – report on work in progress /Seminar at the Royal Veterinary College, London (2008.9)
- 春日文子, 「食品安全委員会における取り組みの紹介」, 食品安全委員会意見交換会 (2008.10)
- Fumiko Kasuga: Risk Assessment & Risk Management Activities in Japan /Conference on Current and Innovative Approaches in Microbiological Food Safety Management (2008.10)
- 春日文子, 「ICMSFによる微生物規格基準設定の考え

方」, 第29回日本食品微生物学会学術総会シンポジウム(2008.11)

春日文子, 「カンピロバクター食中毒防止とリスク評価」, 第1回日本カンピロバクター研究会シンポジウム(2008.12)

野田 衛, 「ウイルスによる食中毒」, 平成20年度第一回食品衛生監視員等研修会 (2008.9)

野田 衛, 「食品のウイルス検査」, 西日本地区食品衛生検査機関研究協議会平成20年度講演会 (2008.11)

野田 衛, 「食品中のノロウイルス検査におけるシークエンスの取り扱いについて」, 平成20年度第二回岡山県食品衛生監視員研修会 (2009.2)

小西良子, 「マイコトキシンのリスクプロファイル」, 食の安心科学フォーラム第7回セミナー「微生物産生微量物質による食品の汚染と対策〜カビ, マイコトキシン, 酵母〜」, 日本食品衛生学会/日本食品微生物学会/日本食品化学学会/IFIA Japan2008(2008.5)

小西良子: 「消費者のリスクを減らすために〜カビ毒を対象として〜」, 厚生労働省横浜検疫所/神奈川県/横浜市 輸入食品の安全性確保に関するシンポジウム(2008.7)

小西良子, 「あなたならどうするアフラトキシンの基準値」, 第35回カビ毒研究連絡会(2008.8)

小西良子, 「食品を汚染するカビ毒の健康被害ってなんだろう」, 神奈川県衛生研究所平成20年度第2回公衆衛生専門技術研修(2008.8)

小西良子, 「輸入食品とMycotoxins」, 日本防菌防黴学会第35回年次大会シンポジウム(2008.9)

小西良子, 「ニバレノールの毒性と評価」, 赤カビ病研究会シンポジウム(2008.9)

小西良子, 「我が国のアフラトキシンおよびオクラトキシン汚染」, 内閣府食品安全委員会 食品に関するリスクコミュニケーション〜北米におけるかび毒のリスク評価〜(2008.12)

小西良子, 「食品とカビ毒」, 食品品質保持技術研究会第

12回食品品質保持技術研究会(2008.12)

小西良子, 「カビを巡る新しい動き」, (社) 日本食品衛生学会第11回特別シンポジウム(2009.2)

杉山圭一, 小西良子, 「食品成分を用いたマイコトキシン毒性制御のアプローチ」, 東京大学大学院農学生命科学研究科 食の安全研究センター シンポジウム「食品による生体防御系の調節: 食の安全性向上にむけた新しいアプローチ」(2009.3)

Sugiyama, K.: Effect of deoxynivalenol on Toll-like receptor signaling

The 17th Congress of The International Society for Human and Animal Mycology (2009.5)

宮原美知子, 「コラボレイティブ・スタディから見えてきたこと 1 サルモネラについて」, 食の安全を確保するための微生物検査協議会 平成20年度講演会(2008.11)

工藤由起子, 「飲料水と汚染物質」, 平成20年度厚生労働科学研究費補助金 食品の安心・安全確保推進研究事業シンポジウム. (2009.2)

上寺祐之, 川村邦夫, 佐々木次雄, 菊池裕, 神崎武敏, 「ISO/TC 198 WG10: 医療用具の滅菌-動物由来の材料を用いた一回使用医療用具の液体化学殺菌剤による滅菌バリデーションと日常管理(ISO 14160)」, (ISO/TC198 国際会議報告会及びJIS化の必要性) (2009.3)

澤田純一, 「遺伝子組換え食品(微生物)の安全性評価基準案作成の経緯」, 食品安全委員会, 食品に関するリスクコミュニケーション(東京) 遺伝子組換え微生物を利用した食品の安全性評価基準案に関する意見交換会(2008.5)

澤田純一, 「遺伝子組換え食品等の安全性評価と最近の動き」, (財) バイオインダストリー協会 安全・環境部会講演会 (2008.9)

澤田純一, 千葉県, 食品の安全・安心に関するリスクコミュニケーション〜遺伝子組換え食品の安全性に関する意見交換会〜, (2009.1)

澤田純一, 食品安全委員会, 食品に関するリスクコミュニケーション(東京) 体細胞クローン家畜由来食品のリスク評価について一, 意見交換会 (2009.3)

- 澤田純一, 食品安全委員会, 食品に関するリスクコミュニケーション(大阪) 体細胞クローン家畜由来食品のリスク評価について, 意見交換会(2009.3)
- 手島玲子, 「遺伝子組換え食品の安全性評価にかかわる最新情報の提供と提言」ビール酒造組合講演会(2008.7)
- 穂山 浩, 「遺伝子組換え食品について」, 東京学芸大学附属高等学校特別講演(2009.2)
- 穂山 浩, 「遺伝子組換え食品について」, 国立沖縄工業高等専門学校特別講演(2009.3)
- 安達玲子, 「アレルギーの表示制度と検出方法の最新情報」, 第12回国際食品素材/添加物展・会議(2008.5)
- 佐藤里絵, 「食品中のアレルギー性物質」, 東京理科大学総合研究機構界面科学研究部門・理窓博士会 産学官連携講演会 “食の安全・安心, そして健康”(2007.12)
- 森川 馨, 牧内隆司, 長嶺敬彦, 「大規模副作用症例データベース(AERS)を用いた医薬品情報の解析-抗精神病薬における安全情報の解析-」, 厚労科研費政策創薬総合研究推進事業研究成果等普及啓発事業(2009.1)
- 天沼喜美子, 森川 馨, 「2008年の海外からの医薬品安全情報」, 厚労科研費政策創薬総合研究推進事業研究成果等普及啓発事業(2009.1)
- 芦澤一英, 森川 馨, 「糖尿病治療における海外の医薬品安全情報」, 厚労科研費政策創薬総合研究推進事業研究成果等普及啓発事業(2009.1)
- 牧内隆司, 森川 馨, 「麦角系ドパミン作動薬に関する副作用症例データの解析」, 厚労科研費政策創薬総合研究推進事業研究成果等普及啓発事業(2009.1)
- 佐賀野修一, 森川 馨, 「HAART療法としての抗糖尿病HIV治療薬併用の解析」, 厚労科研費政策創薬総合研究推進事業研究成果等普及啓発事業(2009.1)
- 森川 馨, 「医薬品安全性情報と大規模副作用症例データの解析」, 財団法人日本医薬情報センター医薬情報講座(2009.3)
- 畝山智香子, 「食品中汚染物質の概要と情報について」, 神奈川県保健福祉部平成19年度食品衛生監視員研修(専門監視コース)(2009.1)
- 井上 達, 基調講演「健康と化学物質」, シンポジウム健康と化学物質-化学物質と幼児行動-(社)日本食品衛生協会(2009.2/2009.3)
- 菅野 純, 「多層カーボンナノチューブのp53ヘテロ欠失マウス腹腔内投与による中皮腫の誘発」, ナノ社会受容研究会講演会(2008.5)
- 菅野 純, 「MWCNTに含まれるアスベスト様粒子が生体へ及ぼす影響」, 化学生物総合管理学会特別講演会(2008.9)
- 菅野 純, 「ナノ材料の有害性評価」, 第2回統合研究院環境プロジェクト・ワークショップ(2008.10)
- 菅野 純, 「カーボンナノチューブの生体影響」, 中央労働災害防止協会企画セミナー(2008.10)
- 菅野 純, 広瀬明彦, ”MHLW study projects on nanomaterial safety and some thoughts on the toxicity of nanomaterials including mesotheliomagenesis of MWCNT”, Recent Progress on Environmental, Health and Safety Research on Manufactured Nanomaterials 名古屋大学国際シンポジウム(2008.12)
- 菅野 純, 「ナノマテリアルの毒性予測-発癌性を中心に」, 学術会議シンポジウム(2008.12)
- 菅野 純, 「ナノ材料粒子の有害性について」, 色材セミナー “ナノ粒子の安全性と応用”(2009.3)
- 菅野 純, ”RISK MANAGEMENT FOR FOOD SAFETY AND INTRODUCTION TO THE SCIENCE AND TECHNOLOGY”, Risk Management Seminar 2009(2009.3)
- 平林容子, 「アリアルハイドロカーボン受容体の生物学」, 京都大学ウイルス研究所セミナー(2009.3)
- 北嶋 聡, 「情動・認知に係る化学物質」, (社)日本食品衛生協会 平成20年度・シンポジウム “健康と化学物質”(2009.2, 2009.3)
- 小島 肇, 「REACH対応と動物実験代替」, 第128回フレグランスジャーナル セミナー(2008.5)

増村 健一, 「*gpt delta* Transgenic rodents mutation assays: molecular analysis of intrachromosomal deletions and base substitutions induced by environmental mutagens」, マサチューセッツ工科大学生物工学科セミナー (2008. 9)

広瀬明彦, 「器具・容器包装に用いられる合成樹脂のリスク評価法に関する研究」 食品安全委員会とともに考える～食のグローバル化 みんなで守ろう食の安全～, 食品安全委員会5周年記念研究成果合同発表会, 食品安全委員会 (2008.9)

広瀬明彦, 「器具・容器包装に用いられる合成樹脂のリスク評価法に関する研究」, ポリオレフィン等衛生協議会 (2008.9)

広瀬明彦, 「カーボンナノチューブ等ナノファイバーと中皮腫」, 第44回公開講演会 ナノ粒子の健康影響評価の視点と対策, ナノ粒子研究会 (2008.9)

広瀬明彦, 「産業用ナノ物質の健康影響評価について」, 第15回免疫毒性学会シンポジウム1「ナノ粒子の生体影響」 (2008.9)

広瀬明彦, 「化学物質のリスク」, 保健物理学会シンポジウム 低線量放射線による生物影響の最前線, 保健物理学会 (2008.10)